

市数研だより

No.3

熊本市中学校数学教育研究会

今年も残りわずかになりました。振り返ると今年は九州数学研究大会が熊本市で開催されるという大きな取組があり、市数研の先生方の絆が強くなった1年でした。新たな1年も市数研はこれまでの活動を続けていきます。先生方どうぞ一緒に学びあいましょう。

第5回定例会の報道です

11月の市数研定例会が、11月16日に藤園中学校図書室で行われました。期末テストをひかえている学校も多く、多忙な時期（いつも忙しいですが…）のため、参加者は少なめでした。少々寂しかったですが、中身のある定例会となりました。

1 福井会長のあいさつ

市数研会長の福井校長先生（京陵中）よりあいさつをいただきました。

それぞれの学校では、期末試験前の大変忙しい時期です。今日の定例会は参加者も少なく、少々寂しいですが、参加いただいた先生方の意気込みで元気を出していきます。

本日は内容も盛りだくさんです。よろしくお願いします。



2 福井会長の 指導力UP、ワンポイント講座

あいさつに引き続き、福井会長の講座です。今回は「生徒の計算力向上のための進級テストの実施例」について紹介いただきました。

福井先生が以前取り組まれた「進級テスト」の膨大な資料の紹介とともに、それぞれの生徒の計算テストの結果と誤答分析の方法などについて説明がありました。

<質疑応答>

Q：進級テストについて。子どもたちは級がつくと喜んで取り組むと思います。

合格ラインはどのようにされたのですか？

A：以前はボーリング方式（2回挑戦、スベアあり）でやったこともある。



3 各種研究実践、研究発表会の取り組みの紹介 復講

近頃行われた、あるいは行われるいくつかの取り組みを紹介いただきました。

（1）少人数授業特別研究員の取り組みについて（武蔵中 桃崎先生）

市教育センターの特別研究員（少人数指導）としての研究実践の紹介です。

研究テーマは、「一人一人を大切にしたいきめ細かい指導の工夫」です。

具体的な取り組みの視点としては、

- ① きめ細かいレディネスなどの把握
- ② 通常の授業での指導法の提案
- ③ 協同学習
- ④ ひとりひとりを引き上げる
- ⑤ 必要以上に教師が出過ぎない

の5つです。

12月19日に武蔵中で少人数指導の在り方についての提案授業を公開します。題材は「三平方の定理」で実施します。対象生徒は習熟度別の「基礎・標準コース」の生徒7人です。「いかに個に応じるか」という課題をもとに授業作りをしています。今、どのような流れでどのように関わっていくかを具体的に練っているところです。質疑応答では、それぞれの先生方から、「少人数指導におけるグループの分け方」や、「習熟度でグループ分けをした場合の指導内容や評価の仕方について」などの様々な意見・感想が出された。



(2) 新採研のための研究授業について(藤園中 宮崎先生)

教育センターの依頼を受け、新採の先生方の参考となる授業を実施した。

授業の大きなねらいとしては「ひとりひとりの生徒にきめ細かい指導」という視点で行うべきだったが、それが達成できたかは疑問であると、授業者の宮崎先生の弁です。

題材は中3「格子点上の多角形の面積(ピックの定理)」今回は辺上の点の数を固定して考えさせた。ピックの定理そのものは2変数の関数なので、関係を考える上では生徒に考えるための、ある視点を与えてあげないと気づかない。

質疑応答では、ピックの定理の証明法について議論されました。



(3) 京陵中学校の研究発表会について(京陵中 出崎先生)

京陵中学校は文科省および市教委の指定を受けて、「学力充実」の研究実践に取り組んでいます。11月8日に研究発表会を開催したので、取り組みについて紹介しました。研究テーマは『「生徒と教師が共に輝く授業の創造」～生徒・教師・環境のたゆまぬ相互作用を通して～』です。サブテーマの「生徒」「教師」「環境」のそれぞれを向上するための「向上課」を組織して取り組んできました。プレゼンテーションを提示しながら取り組みの様子を紹介しました。

質疑応答では「週目標の取り組み」「遅刻0について」などの質問が出ました。

4 諸連絡

① 12月は定例会は行いません。12月7日に市数研の忘年会を行います。

② 計算テストについては、各学校に配布しました。ぜひご活用下さい。

以上、11月定例会の報道でした。

市数研の忘年会がありました

12月7日(木)恒例の「市数研大忘年会」がチサンホテルで開催されました。

多くの学校が3者相談の時期だったり、他の行事との重なり、また体調を崩して泣く泣く不参加の先生が出るなどで、例年に比べると参加者が激減。市数研の忘年会の歴史の中で、おそらくはじめての「小さな部屋」での会となりました。今年1年の活動を振り返りながら和気あいあいと楽しい会となりました。



少人数指導の授業研がありました

12月19日(火)武蔵中で桃崎先生と北原先生の少人数指導の授業研がありました。

3年生の「三平方の定理」の単元で「基本・標準コース(桃崎先生)」と「標準・発展コース(北原先生)」の習熟度別コース分けされた授業でした。

「基本・標準コース」は7人の生徒を一人一人の実態に応じたいてねいな指導がなされました。

「標準・発展コース」は28人の生徒をさらに到達度に応じて7つの小グループに分けて、各グループで学習を進めていく形でした。

授業後の研究会のまとめの話の中の「少人数指導って、少なくしただけでは効果なし。どのように分けるのかがよく議論されるが、分けた後のその小集団にどう関わるのかについて考えていくことが大切である」という言葉が印象に残りました。

今回の授業は、そのことを考える上での大いなる示唆を与えられるものでした。桃崎先生、北原先生、ありがとうございました。



お知らせ・お願い

①今年も「算数・数学おもしろランド」が開催されます。

12月23日(土) 24日(日)それぞれ午前10:00から市立博物館が会場です。

「パターンプロックで遊ぼう」「折り紙で立体をつくろう」「タングラムで遊ぼう」などの プログラムが準備されています。また「算数・数学クイズ王選手権」も同時開催。先生方この機会にご参加ください。また、各学校でコマーシャルいただくとうれしいです。先生方と一緒に「おもしろランド」を盛り上げましょう

②1月の定例会は1月18日(木)です。

最近定例会への参加者が少なく、寂しい感じがします。

忙しいのは、いつでも誰でも同じです。あたたかい飲み物やお菓子が準備されています。何よりも、またとない数学教育を考える機会です。どうぞふるってご参加下さい。

藤園中図書閲覧室で待っています。

「算数・数学おもしろランド」2008

～見て、遊んで、学習の仲間～

開催日 12月23日(土) AM10:00 ～ PM4:00
24日(日) AM10:00 ～ PM3:00

会場 市立博物館 特別展示室(旧本町会館13-2)

対象 市内の小・中学生と保護者

科目

1. パターンプロックで遊ぼう
2. 折り紙で立体をつくろう
3. タングラムで遊ぼう
4. おもしろい図形で遊ぼう
5. 図形ゲームで遊ぼう
6. パズルゲームで遊ぼう
7. 算数・数学クイズ王選手権(開催!)

賞品 算数クイズ王選手権(開催!)

※ 算数クイズ王選手権は、市内の小・中学生を対象とした、算数・数学の知識と応用能力を競う大会です。参加費は無料です。詳しくは、市内の小・中学校の先生方へお問い合わせください。

定例会への多数の先生方のご参加をお願いします！！

皆さんと共に歩む市数研です。

各学校から1名、是非お願いします！

数学主任の先生、ぜひ呼び掛けてください

(文責：京陵中学校 出崎友英)